

代表者名	三浦庄助	所管部課名	農林水産部水産漁港課
所在地	男鹿市船川港台島字鶴ノ崎16	設立年月日	平成4年10月16日

【沿革及び県の出捐理由】

栽培漁業の推進に関する事業を行うことにより、水産資源の維持増大及び漁業経営の安定を図り、もって漁業の振興に寄与することを目的に県等の出捐で平成4年10月に設立する。

【出捐者】(22年度当初) (千円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	250,000	49.9
市町村	8	75,000	15.0
その他	5	176,500	35.1
計	14	501,500	100.0

【事業】

主たる業務

アワビ、クルマエビ、ヒラメ種苗の生産及び供給。  
マダイ、ヒラメの中間育成・放流。  
ガザミの斡旋事業。

事業実績 (千尾・千個)

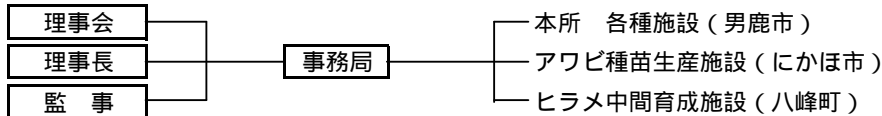
事業名等	19年度	20年度	21年度
アワビ	750	731	787
マダイ	734	864	828
ヒラメ	223	403	323

21年度事業概要及び22年度事業計画・目標

21年度事業概要：クルマエビ及びヒラメの種苗生産供給事業、ガザミの種苗斡旋事業並びにヒラメ及びマダイの放流効果実証事業は計画どおり事業を行ったが、アワビの種苗生産では取水施設の不具合により実績が計画数を下回ったため県外からの移入によって需要に対応した。  
22年度事業計画・目標：21年度産のアワビ稚貝がほとんどいないため大きいサイズのアワビ種苗は県外から移入するものの、それ以外は自前生産で県内需要に応え、引き続き栽培漁業の推進に寄与したい。

【組織】

運営機構



役員数 (H22.7.1現在) (人)

	理	事	監	事
常勤				
内、県退職者				
内、県職員				
非常勤		10		3
内、県退職者				
内、県職員		2		
計		10		3
内、県関係者		2		

職員数(H22.4.1時点)(人)

正職員	3	正職員平均年齢	正職員平均勤続年数
内、県退職者	1	49.3歳	10.7年
内、県職員			
臨時・嘱託	9	正職員平均年収	4,500千円
内、県退職者			
計	12		
内、県関係者	1		

役員報酬支給対象者数	人
役員報酬支給対象者平均年齢	歳
平均役員報酬額	千円/年

【財務】

損益状況(21年度) (千円)

	金額
経常収入 A	74,632
受託事業収入	7,793
補助金収入	3,913
自主事業収入	52,484
運用益収入	5,677
その他	4,765
経常支出 B	83,427
人件費	35,950
その他	47,477
経常損益 C = A - B	8,795
経常外収入	
経常外支出	1,048
諸税	
当期損益	9,843

財務状況(21年度末) (千円、%)

	金額	構成比
流動資産	90,621	15.0
固定資産	514,294	85.0
資産計	604,915	100.0
流動負債	1,658	0.3
短期借入金		
固定負債	9,230	1.5
長期借入金		
負債計	10,888	1.8
基本金	501,500	82.9
剰余金	92,527	15.3
正味財産計	594,027	98.2
負債・正味財産計	604,915	100.0

県の損失補償額	県の債務保証額
---------	---------

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
	9,230	9,230	100.0%

【県の財政支出】

	19年度	20年度	21年度	支出目的・対象事業概要等
補助金	10,109	5,218	3,913	栽培漁業推進事業補助金
委託費	19,072	4,248	5,888	種苗飼育等業務委託費ほか
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	19年度	20年度	21年度	19-20増減	20-21増減
健全性	自己資本比率	%	95.67	98.25	98.20	2.58	0.05
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	5,292.43	5,764.84	5,465.68	472.41	299.16
収益性	剰余金(欠損金)	千円	81,257	102,370	92,527	21,113	9,843
	経常利益率	%	10.83	3.36	11.78	7.47	15.14
	総資本利益率	%	1.61	0.39	1.45	1.22	1.84
発展性	経常収入額	千円	90,801	70,926	74,632	19,875	3,706
効率性	総資本回転率		0.15	0.12	0.12	0.03	0.00
	職員1人当たり経常収入	千円	7,567	5,911	6,219	1,656	308
	人件費比率	%	34.21	35.50	48.17	1.29	12.67

2 経営目標の達成状況

経営目標			19年度	20年度	21年度	22年度
経営改善指標	県委託費(千円)	目標	18,000	18,000	5,000	5,000
		実績	19,072	4,248	5,888	
事業成果指標	総支出経費(千円)	目標	83,000	83,000	73,000	70,000
		実績	81,011	70,785	83,078	
事業成果指標	種苗(アワビ)の提供(千個)	目標	600	600	730	730
		実績	750	731	787	
事業成果指標	種苗(クルマエビ)の提供(千尾)	目標	4,000	4,000	4,000	4,000
		実績	4,859	7,159	5,979	
顧客満足度指数	目標		-	-	-	-
	実績		-	-	-	-

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

平成20年度までは、補助事業費等の削減傾向が進む中であっても、全体として経営は概ね順調に推移してきた。  
 しかし、平成21年度は、アワビ種苗生産施設取水施設に関する不具合により多くの稚貝が死滅したため、これらの生産に要した費用が結果として損失となった。  
 平成22年度初頭に終える予定の施設改修後は、この取水施設の特徴を捉え、安定したアワビ種苗の生産に努める。  
 今後とも、更に技術研鑽に努め、放流効果を向上させるため良質な種苗の生産を目指すとともに、更にコストの削減に努め、栽培漁業の推進に寄与する。

4 総合評価(計算書類等の資料による評価)

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
・種苗生産事業は、ヒラメ・クルマエビについて計画どおりに実施でき、前年度よりも4百万円の増収となったが、アワビは取水設備の不具合が生じ、生産数量が計画を下回ったことから、県外から種苗を購入し対応したため、種苗購入費が前年度より22百万円増加した結果、経常収支は8百万円の赤字を計上した。 ・計画どおりに生産できれば、単年度黒字であり、今後は取水設備機能の完全化が望まれる。	